

教科（地理歴史） 科目（世界史A） 学年（2） 単位数（2）

類型（文）

履修規定（文：選択 理：必修）

学習の目標			使用する主な教材				
1 今日当然とされる人間の権利と自由の尊重がどれだけの努力と犠牲のうえで実現されてきたかを具体的に探求し、その重要性を理解する。 2 世界の各地域の文化の形成を学び、異文化の多様性を理解し、異文化を尊重する態度を養う。 3 過去の人類の経験を学ぶことにより、それらを未来に生かし、共に生きる世界を追求する。			・教科書『明解世界史A』帝国書院 ・資料集『明解世界史図説エスカリエ』帝国書院 ・補助資料（プリント、地図、VTRなど）				
			評価の観点 ① 関心・意欲・態度 ③ 資料活用 of 技能 ② 思考・判断・表現 ④ 知識・理解				
期	月	学 習 内 容	学 習 の 具 体 的 内 容 と ね ら い	主な評価の観点			
				①	②	③	④
一 学 期	4	人類の始まり 東アジアの文明	・人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へ入っていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	○		◎	○
	5	南アジアの文明 東南アジア 西アジア・北アフリカの文明	・漢族と遊牧騎馬民族との関係に留意しながら、それぞれの変遷を概観し、風土と生活、言語・文字、思想などの視点を通して、東アジアの世界像を把握させる。 ・南アジアの風土と諸民族、カースト制、諸宗教の影響などを通して、南アジア世界の特徴を理解する。	○	○	◎	
	6	ヨーロッパの文明	・南アジア・中華文明のはざまで多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特徴を理解する。 ・イスラーム世界の特徴を理解する。	○	◎	○	
	7	南北アメリカの文明 ユーラシアの文明	・古代ギリシア・ローマ、キリスト教、ゲルマンの視点からヨーロッパの重層性を理解する。	◎			○
二 学 期	8	（夏休み課題） 大航海時代と新たな国家の形成	・世界史に関するレポートを作成することにより、情報の収集、活用、表現の技能を身につける。 ・経済活動の世界化、ヨーロッパの優勢、また、今日のヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制について理解する。	○			◎
	9	ヨーロッパとアメリカの諸革命	・18世紀後半から19世紀にかけての欧米の諸革命を中心に、社会の産業化と国民国家の形成が相互に関係しつつ進んだことによりヨーロッパを中心として近代が確立したことを理解させる。	○			◎
	10	自由主義・ナショナリズムの進展 アジア諸国の動揺	・産業革命、フランス革命、アメリカ諸国の独立、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会及び国民国家の形成が進行したことを理解する。		◎		○
	11	東アジアの大変動 現代につながる社会の形成	・植民地支配の危機を乗り越え、各国の新政権により近代化が進められたことを理解する。 ・世界における諸課題について新聞記事の切り抜きを行い、レポートを作成する。	○		○	◎
	12	（冬休み課題）		○	◎	○	
三 学 期	1	第一次大戦がもたらしたもの “民族自決”を求めて 経済危機から第二次世界大戦へ	・第一次大戦後の世界秩序の成果と限界について理解する。 ・経済、政治の両面から、なぜ世界大戦の再発を防げなかったのか考察する。 ・冷戦の生起、経過、終焉の過程を、米ソ両大国の動向を軸に理解する。	◎	○		○
	2	冷たい戦争の時代 冷戦終結への道のり 地球社会への歩み	・冷戦終結後の世界を、「グローバル化」と「ブロック化」という、一見相反する視点から理解し、現代の国際社会の抱える問題について考察する。	○	◎		○
	3			◎		○	○
評価の方法		定期考査の得点に平常点（課題・授業態度・小テスト等）を加味して100点満点で各学期とも算出する。学年末の成績は各学期の成績をもとに算出する。主に、①、②、③、④の4つの観点から総合的に判断する。					
備考							